



業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	家庭から排出されるごみ・資源総量 (うち資源量)	t	目標	—	—	—
実績				34513(9073)	34,110(8,731)	33,451(8,480)	
業	ごみ・資源収集日数	日	目標	—	—	—	—
			実績	311	310	310	
業	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			目標	—	—	—	—
績	家庭から排出されるごみ・資源総量 (うち資源量)	t	実績	34513(9073)	34,110(8,731)	33,451(8,480)	
			目標				
業			実績				
			目標				

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	3人10台体制から3人9台体制に収集体制を変更することにより、効率的な収集運搬体制を確保し、市民生活から排出される資源・ごみの分別収集を適正に処理した。				
		事業実施における課題	再任用職員の退職に伴う、民営化が必要となる。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	市民生活から排出されるごみ・資源が収集されず衛生環境が悪化する。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	再任用職員6人の退職に伴い、27年度からペットボトル収集業務の民営化を図る。				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	民営化を実施しつつ、市民生活から排出されるごみ・資源の収集運搬は順調に行う必要がある。					
	27年度以降の改善案	今後職員の退職に伴う更なる委託化を検討する。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 可能な限り民間への委託化を推進すること。